

あまとり病^{yan musu}娘

～あかねと野外えっちしちゃう？～

キャラクター設定資料

制作：あまとりスイーツ

<http://amatorosweets.x.fc2.com/>

シナリオライター：新條にいな

<http://blog.livedoor.jp/niinashinjou/>

＜表プロフィール＞



氏名：二階堂 紅音（にかいどう あかね）

学校：公立海南（かいなん） 2年文系クラス

身長：161 センチ

一人称：わたし

聞き手の呼称：キミ

性格：とにかく元気で、楽しいことが大好き！

誕生日：1月17日

血液型：B型

学力：まあまあかな～

特技：スポーツ全般、料理、トランペット

好きなもの：子ども

好きな食べ物：アボカド

好きな音楽：邦楽はみんな好き！

スマホのロック画面：クラスみんなで撮ったプリ画像

胸：Dカップ（もうちょっと欲しいよね）

将来の夢：楽しく生きる！！

部活：女子バレーボール部（中学時代は吹奏楽部）

動物に例えると：リス

チャームポイント：ふくらはぎ

キミにしてほしいこと：おじいちゃんおばあちゃんになっても、ずっと仲良しでいようね

＜裏プロフィール＞



氏名：二階堂 紅音（にかいどう あかね）

学校：公立海南（かいなん） 2年文系クラス

身長：161 センチ

一人称：あたし

聞き手の呼称：キミ

性格：根暗で嘘つきで神経質

学力：ホントは星稜学園に行きたかったけど落ちた。正直、クラスの子とはそんなに話が合わない

特技：嘘をつくこと、人の顔色をうかがうこと

好きなこと：知り合いのいない場所で、一人でゆっくり音楽聴いて過ごすこと

好きな食べ物：アボカド

好きな音楽：暗い歌

憧れの芸能人：アイドルのきーりん。明るくてかわいくて、あたしもあんな風だったら良かったのに

PCの壁紙：砂漠の写真

胸：Dカップ（胸とかどうでもいい）

今したいこと：紫に謝りたい

将来の夢：正直に生きたい。もう嘘をつきたくない

部活：女子バレーボール部（中学時代は吹奏楽部）

キミにしてほしいこと：すべてを知っても、キミだけはあたしのこと、受け入れてほしい

【人柄】

明るく元気で、分け隔てない性格の人気者。

老若男女問わず慕われるクラスの中心人物で、特に周囲になじめていない子には、積極的に声をかける。

スポーツ万能で成績優秀。

器用でのみこみが早いため、大抵のことはなんでもすぐにできる。

人に教えるのも得意で、その人柄と高い能力から「無人島に連れて行きたい子ナンバーワン」と評されている。

しかし、周囲に好かれる一方で、本人は自身を偽善者と捉えている。

本来の人間性や嗜好を隠し、常に理想の人間を演じているため「愛されているのは作り物の自分」「本当の自分を知ったら、みんな離れていく」と考えている。

周囲には隠しているが、アイドルの「きーりん（六道 黄莉花（りくどう きりか））」の大ファン。

2年前偶然テレビで見かけて以来、明るく可愛い彼女を熱烈に気に入り「きーりんみたいになりたい」と半ば自己投影しながら応援している。

転勤族で、中学2年次にこの街にやってくるまでは転校を繰り返していた。

そのため場の空気を読んだり、人間関係を把握するのが得意。

部活は吹奏楽部に入り、途中入部ながら部の中心的存在になる。

しかし、唯一無二の親友・一ノ瀬紫と、あることがきっかけで仲たがいし、紫が退部。

以来、さらに本心を見せるのを怖がり、ますます完璧な人間として振る舞うようになった。

常に孤独を感じており、自己肯定感が極端に薄い。

理解者を強く求めているが、本音を晒せないため、他人と深い関係にはなりがたい状況にある。

自分が悪循環に陥っていることには気づいているが、どうしたら抜け出せるのかはわからずにいる。

主人公にだけは、こんな自分を理解してほしいと思っている。

もしも世界が滅んで世界でふたりきりになれば、そこで自分はついに本来の自分として振る舞えるだろうと考えている。

<あらすじ>

「キミ」は公立海南 文系クラスに所属する2年生。

夏休みは恋人の紅音に誘われて、
『夏休み小学生合宿』のボランティアスタッフとして活動することになりました。

明るく分け隔てない性格に加え、アウトドアの知識にも長ける紅音は
「無人島に連れて行きたい子ナンバーワン」と評されるほどの人気者。
彼女のお陰で、合宿1日目は大成功に終わりました。

けれど紅音は、何やら元気がない様子。
どこかうつろな表情で、「キミ」を夜の森へ誘います。

周囲の信頼も厚く、誰からも好かれ。
隠し事などひとつもなさそうな紅音。
だけどその過去には、大切な友人との間に起きた、ある秘密がありました。

誰よりもあなたに惹かれ、あなたのことだけは裏切らないと心に誓う紅音。
そんな彼女のそばに、あなただけは、いつもいてあげてくださいね。

